

Shanghai



Soaked in Asia

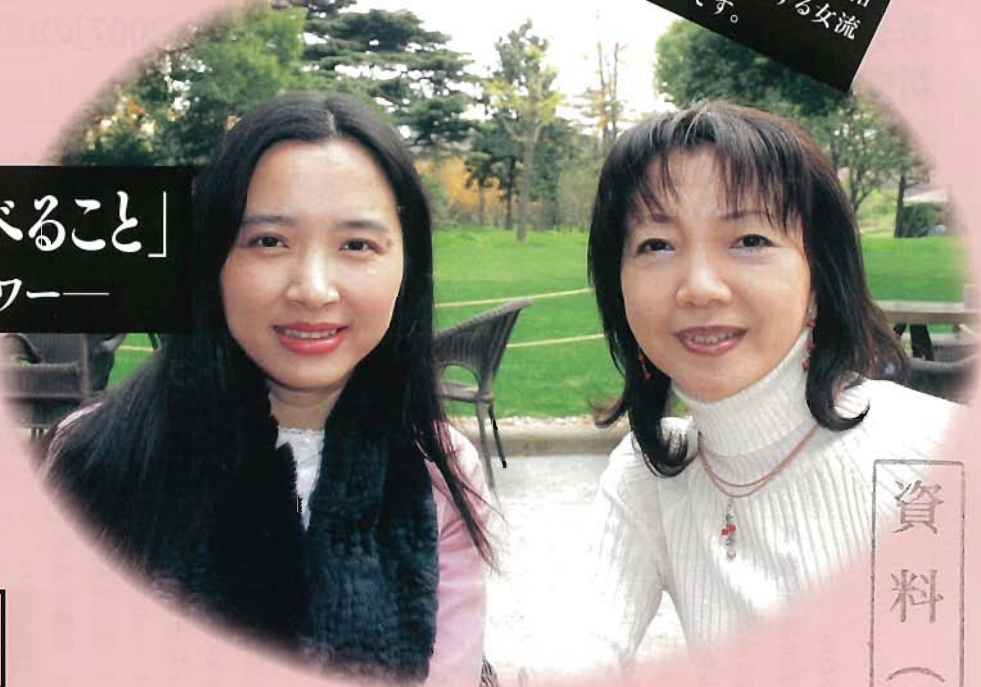
～アジアの心の情報を発信する～

第5回 SIA-DAY 高樹のぶ子と浸る 上海!

SIA(サイア)とは、芥川賞作家で九州大学
特任教授でもある高樹のぶ子が、アジアの
文学作品を読み、作家と交流し、「アジアに
浸る」ことで感じた世界を、「短篇朗読」「現地映像」
「トデッセイ(エッセイ+写真)」「現地映像」
「レクチャー」など様々な方法で発信するマ
ルチイベントです。今回の上海編では、富裕
層の女性を描く、現代中国を代表する女流
作家 潘向黎さんがお相手です。

テーマ「生きることは食べること」
—急成長する上海パワー—

- I部: 熱くつめたい女たち
- II部: 巨大都市を支える食
(休憩: おやつSIA)
- III部: 魔都の残り香



パンシャンリー
潘向黎

高樹のぶ子

資料
(3)



◎日 時 / 平成20年 **3月22日(土)**
13時30分～16時30分(13時開場)

◎場 所 / **アクロス福岡・円形ホール** 福岡市中央区天神1-1-1
●テキスト代1000円(おやつSIA代含む)
(テキスト=当日朗読する2つの短編を掲載した『新潮』4月号)

◎主 催 / 九州大学アジア総合政策センター

要申込み
締切/3月12日(水)必着



- 福岡空港から天神まで地下鉄で11分
- JR博多駅から天神まで地下鉄で5分
- 地下鉄天神駅より徒歩2分(16番出口)
- 西鉄福岡(天神)駅から徒歩7分

◎申込み方法

①氏名 ②年齢 ③職業(九大生の場合は学部と学年) ④連絡先(住所、Fax/E-mail)を明記してFaxかE-mailで申込み下さい。御夫婦やグループでのお申込みは、その旨書き添えて下さい。

会場の都合上、参加人数が限定されます。抽選の結果は、FaxかE-mailで3月14日(金)までお知らせいたします。

◎申込み先:

E-mail/Faxのいずれかで下記までお申し込みください。(チラシの裏面に申込み用紙あり)



九州大学アジア総合政策センター

●申込み先 / Fax:092-642-4435 Email:asia@isc.kyushu-u.ac.jp
●問合せ先 / Tel:092-642-4433 http://asia.kyushu-u.ac.jp

WEB SIA—活字、映像等の情報発信基地—
が完成

(今後このサイトを通じて重要なお知らせを行うことがあります)

アクセス方法

- *<http://blog.goo.ne.jp/websia>
- *ポータルサイト「goo」→「ブログ」→「オフィシャルブログ」→「高樹のぶ子のWEBSIA」を選択
- *「高樹のぶ子九州大学SIA」で検索

第5回 SIA-DAY

高樹のぶ子と浸る

上海! —理解を超えて 愛するための一日—



第4回SIAマレーシア編はRKBDキュメント「ムーブ2007」のほか
新聞記事等で全国に紹介されました。

出演番組、ウェブから配信
高樹のぶ子さん
TV局、無料で提供

作家の高樹のぶ子さんがウェブで、本人が出演したテレビ番組を配信している。アジアの作家らとの交流を伝えるドキュメンタリーで、製作は福岡市のRKB毎日放送。テレビ局が番組を、個人のウェブに無料で提供するのはあまり例がないという。高樹さんは「発信地が世界の中心になるウェブで、多くの世代に思いを届けたい」と話す。

高樹さんは05年秋、九州大学アジア総合政策センターの特任教授に就任。アジア各地の作家らとその土地で交流、感じたことなどを小説やエッセーにして文芸誌や新聞に発表している。5年間で10都市を訪れる予定だ。複数メディアにわたるこの活動全体をSIA(サイア=Social Impact)の頭文字で、アジアに浸るという意味と名付けた。

06年にフィリピンの作家プリヤンテス氏を訪れた模様を、RKB毎日放送がドキュメンタリー番組にまとめ九州・沖縄地方で放送。後日、キー局のTBSがNEWS23の特集枠で、この番組の一部を全国に放送したが、続くベトナムと台湾の回は、九州・沖縄地方のみの放送になった。

福岡市在住の高樹さんは「地方から発信することの難しさを実感した」という。自力で全国やアジアにも届けられないか、とNTTの知人に

相談、今年6月、「WEB SIA」が開設された。これまで放送された3話が見られ、年内に第4話のマレーシア編をアップする予定だ。

RKBはウェブ用に番組を編集し直すなど全面的にバックアップしている。メディア事業局の倉富清文局長は「地方局には販売できるような派手なコンテンツは少ない。この番組も地味だが、はじめにモノを考える人が見てくれている。アジアは大きなテーマ。地方局の可能性を探りたい」と話す。

このウェブでは「新潮」に発表した小説も英訳して掲載。文学とネットの関係も探っている。高樹さんは「若い世代のツールを使って、上の世代のよきものを持ち込んでいかないと。始めるまでブログなんて知らなかったが、自分流に良質なものを提供したい。本を読まない人にも橋をかけた」と話す。

NTTレゾナントによると「WEB SIA」は、字が標準より一回り大きくて読みやすく、動画を大胆に取り入れているのが特徴。アクセス数も順調に増えている。「50〜60代のインターネットへの加入が増えてきていて、ブログはメール程度の技術で参加できるコミュニケーションツール。SIAを通じて文学に興味のある人たちに新たなユーザー層が広がろう」と担当者は期待を寄せる。

(朝日新聞全国版

2007年8月22日より)

高樹のぶ子(九州大学特任教授・作家)

「光抱く友よ」で戦後生まれの女性として初めての芥川賞受賞。
「水脈」で女流文学賞、「透光の樹」で谷崎潤一郎賞受賞。
男女の関わりを中心に人間心理の機微を物語性豊かに描く。
映画化・ドラマ化、多数。
芥川賞、大佛次郎賞、野間文芸賞などの選考委員を務める。
2005年10月から九州大学アジア総合政策センター特任教授。

潘 向黎(パン シャンリー)

1966年福建省泉州生まれ。
1988年上海大学中文系を卒業し、1991年文学修士号を取得。
文芸誌「上海文学」編集者となり、92年から94年まで日本に留学。
改革・開放後の大都市に登場した新興中産階級の恋愛を描く。
著書「白水青菜」等多数。

お申込み

◎送信先/Fax: 092-642-4435

氏名(ふりがな)	年齢	所属(勤務)先 ※九大学生の場合は学部と学年
	歳	
連絡先(住所)	(Fax/E-mail)	

*抽選の結果はFaxかE-mailでお知らせしますので、どちらかを必ずご記入下さい。(お申込み後、ご参加を取りやめる方は必ずご連絡下さい)